白根青年会議所一般公開例会

文化講演会

7月18日・サルナート吉運堂

講師：入広瀬村長
（山菜共和国大統領）
須佐昭三氏

胸を張って「入広瀬」と……

制度を斜めに見て意表を突く

バイタリティーは働く場から

若者定住と活性化社会への道を求めて

克雪から利雪へ 胸を張れるふるさとに

今から十七、八年前までは、かんじきで雪道を踏み固めていました。今では雪上車のおかげで、どんな山沿いでもマイカー通勤ができるようになりました。今までは、雪を克服することで生活革命を行ってきたわけです。

入広瀬で四か月間に降る雪は十二億㌧。春になれば解けて水になります。大きな水ガメを抱えたわが村は、蒲原平野を潤してきたわけです。

水という財産に埋もれているわが村は、今まで強いられてきた厳しい条件を逆に利用し、これからは十二億㌧の雪を活用して生きる道を考えていきます。

関越高速が出来て、東京から二時間ちょっとで入広瀬に入れるようになりました。これを生かすためには、自らそれなりの努力をしていく義務があります。

「高速が整備されてよかった」と言われるためには、利雪都市をつくっていかなければなりません。

入広瀬がテレビに出るのは、いつも大雪のときばかりです。Uターンしてきたある若者が、東京にいたときは「出身地は長岡の近くの……」と、村の名前をぼかしてたって言うんですね。

これでは地域に活力を求めるわけにはいきません。若者が胸を張って「わがふるさとは○○」と答えられるような地域にしなければなりません。

地域に合った事業に 要綱を斜めに見る

村の政策を進めるにあたって私が職員によく言っているのは「村の行政は、よそよりも一歩先にやらなければならない」。行政の先取りをすることが大事です。次に「法律は縦書き。国のいろいろな事業の要綱は横書きだ。これを斜めに見て考えろ」。

つまり、国全体として書かれてあるものを、入広瀬という地域に合ったものに考え直すということです。

このやり方は、まともな人にはおかしく見えることもあると思います。いろいろな制度を並べ、ドッキングさせたりするわけです。例えば、来年、国鉄の駅を農林水産省の補助事業で改築します。駅の中には物産販売所もいっしょにつくるわけです。

村づくりの一つとして 若者の働く場をつくる

若者が定住するためには働く場がなければなりません。バイタリティーを生むには、グラウンドや公園をつくるよりも、働く場が重要です。工場を誘致し、土には体育館をつくりました。

また、大分では、村一品運動ですが、うちでは、村一品です。地場産業を振興したことが、若者の雇用拡大につながりました。

農村は農地を捨てたら崩壊します。基盤整備が来年度には完了します。村にとっては革命的なことです。なにしろ平場と違い、「たんぼを数えたら一枚足りなかった。そこで、足元に置いてあったみのをどけたら、その下にもう一枚あった」なんていう話もある地域ですから。

農道も、五年後にはすべて舗装しようと、現在進めています。今年は約六㌔、五年間で三十㌔。すべて村でやります。もし皆さんが五年後に人広瀬に来て、まだ土の農道があったら土下座してあやまります。

農家の嫁婿不足の問題というのは、ただ村長が二人をくっつければよいというわけではありません。まず、農村の青年が、農業や地域に対して誇りを持てなければなりません。その期待に答えられるような農政を、進めていかなければならないと思っています。

（二時間の講演から抜粋）

衆参同日選挙：白根市開票結果

衆参同日選挙が、7月6日に行われました。本市での投票状況をお知らせします。（得票順）

当日の有権者数…25,132人

【衆議院総選挙】

投票率 75.67%

佐藤　隆（自前）6,737票
渡辺紘三（自前）3,430票
稲葉　修（自前）2,535票
斎藤一保（社新）2,229票
栗原博久（無新）2,039票
吉田正雄（社新）1,292票
小日向昭一（共新）357票

【参議院選挙区選挙】

投票率 75.59%

長谷川信（自現）9,380票
志苫　裕（社現）5,758票
村田一男（共新）803票
長田彫潮（み連新）249票

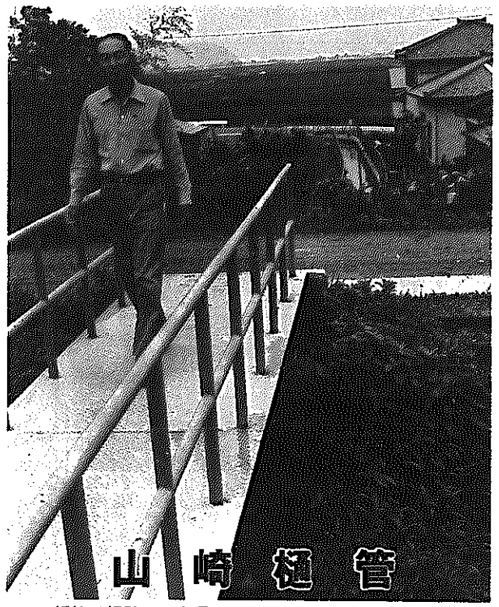
【参議院比例代表選挙】

投票率 75.57%

（本市での得票ベスト10）

自民党 8,121票
社会党 3,693票
公明党 1,290票
共産党 859票
民社党 479票
サラリーマン新党 256票
二院クラブ 198票
税金党 196票
新自由クラブ 122票
福祉党 84票

川の水を取り入れ続けて百二十年



樋管は堤防の下を通り、川の水を用水路へ送ります

語る人
笹川昭一さん
（山崎興野・農業・59歳）

私の思い出 昔のわが衛

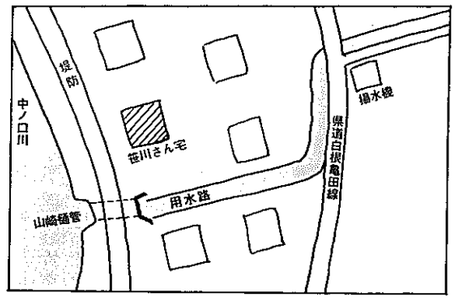
私の家の前に山崎樋管があります。初めに敷設されたのは、今から百二十年余り前の文久年間と言われ、山崎興野の人たちが力を合わせて敷設したのだと伝え聞いています。

私たちの子供のころ、樋管先に大きな水遊び場がありました。魚がよく釣れたものです。近所の人たちが釣りをしていると、自分も釣りざおを持ってきて仲間に入れてもらったりしました。

また、夏になると、今と違ってプールの無い時代でしたから、子供たちの水泳場となりました。遠くからもやって来て、たいへんにぎわったものでした。

しかし、この樋管も老朽化して昭和三十一年と昨年四月の二回、改修が行われ、現在のりっぱな樋管と水路に変わっています。

そして、昨年のお盆の渇水期にも、昭和五十三年に完成した揚水機といっしょに、思う存分、水田に用水を送り続けてくれました。



白根語辞典①

昭和四十三年、故福島定治氏（当時、市教育委員会　社会教育主事）編集「しろねのことば」から

あ

あーせ　浅い
あせえ＝新飯田地方

あーちゃん　幼児が子守の女性を呼ぶときに使う。白根・臼井・大郷地方
あや、おちや＝臼井地方

あかーり　明るい。庄瀬・鷲巻地方
あかーれ＝全地域

あがる　田畑の仕事を終わって家に帰る

あかとり　敷き布

あがらんかね　帰りませんか

あがろいね　帰りましょう
あがろうれ＝茨曽根地方
あがろれね＝新飯田地方

あきゃー　しまった

あくと　かかと

あけっば　ごみ捨て場。茨曽根・臼井・大郷・鷲巻・根岸地方
あけつば＝新飯田・庄瀬地方

あげる　……の上に置く

あざ　ほくろ

あさぐ　歩く

あさげ　朝

あすひ　祝日、祭日、休みの日。茨曽根地方
もんぴ＝臼井・大郷・根岸地方

あすぶ　遊ぶ

あだける　ふざける、暴れる
あばける＝全地域

あたる　さわる、触れる

あつける　与える

あったけ　温かい

あったら　惜しい

あっちえ　暑い

あっつえ　厚い

あつどこ　厚床の意。たたみ

あっぱ　大便
くそ＝根岸地方

あっぱじょ　大便所。庄瀬地方
あっぱんじゃ＝新飯田・茨曽根・白根・大郷地方
えんこぽっち＝根岸地方

あなれ　あられ
あられもち。新飯田・庄瀬・茨曽根地方
けずりもち＝臼井・大郷・鷲巻地方

あね　嫁
あねさ＝全地域

あねま　女性。白根・臼井・根岸地方
おなご＝白根・大郷・鷲巻地方
おんなご＝新飯田・庄瀬・茨曽根・小林地方
めじゃー＝根岸地方